

# 福島国際研究教育機構における農林水産研究の推進

令和8年度予算概算要求額 2,092百万円（前年度 1,942百万円）  
(うち復興特会 1,840百万円（前年度 1,918百万円）、一般会計 252百万円（前年度 25百万円）)

## <対策のポイント>

福島国際研究教育機構（F-REI）が農林水産業の創造的復興に向けて取り組む、次世代スマート農業技術や地力の早期回復技術等の確立に向けた研究開発を支援するとともに、F-REIの長期・安定的な運営に必要な経費の一部を拠出します。

## <事業目標>

令和11年度末までに全国展開可能な地域循環型経済モデルのプロトタイプを構築

### <事業の内容>

<b>1. 研究開発</b>	2,040百万円（前年度 1,918百万円）
うち 復興特会	1,840百万円（前年度 1,918百万円）
一般会計	200百万円（前年度 - ）

福島国際研究教育機構（F-REI）が取り組む、農機の完全無人自動走行システムの構築や地力の早期回復技術の開発等に関する研究開発を支援します。

<b>2. 法人運営</b>	（一般会計） 52百万円（前年度 25百万円）
研究開発費の一部及びF-REIの長期・安定的な運営に必要な経費を支援します。	

## <事業の流れ>



### <事業イメージ>

#### 福島国際研究教育機構（F-REI）

福島ならではの優位性を発揮できる5つの研究分野において研究開発を実施。世界でも類を見ないほどの複合的な災害を経験した福島に、日本を代表する世界水準の研究拠点をつくりあげ、「創造的復興の中核拠点」として、福島・世界の課題の解決と産業創生につながる研究に取り組む。



#### <農林水産業分野の研究内容>

- 土壌を軸とした作物育成に関する研究と栽培技術の開発・実装
- 土地利用型農業における超省力生産技術に向けた技術開発・実証
- 地域資源活用に向けた新素材等の開発・実証
- 持続的農林水産業創成に向けた技術調査・研究／研究成果の社会実装



土壤再生の機序を解明し、  
土壤創設技術を確立



有機物の効用を  
科学的に解明



自律的に移動・作業する  
自動走行システムの構築